

## 第 96 回大腸癌研究会 広報委員会

### 議事録

開催日： 2022 年 1 月 20 日 (木) 13:00~13:30 (現地+Zoom 開催)

出席者： 植竹宏之 (委員長/国立病院機構災害医療センター)、石黒めぐみ (東京医科歯科大学)、島田能史 (新潟大学)、問山裕二 (三重大学)、深澤智美 (防衛医科大学)、森脇俊和 (筑波大学)

欠席者： 岡 志郎 (広島大学) 濱口哲弥 (埼玉医科大学国際医療センター)

(敬称略、五十音順)

#### 1. 報告事項

---

##### 1) 2021.7.3

次々回研究会の開催日時・場所について掲載するよう、研究会事務局に申し入れ、対応された。今後も定期 update 作業の一環として漏れなく実施されるよう注視する。

##### 2) 2021.9.16

「大腸癌治療ガイドライン医師用 2022 年版 (案)」のパブリックコメント募集のお知らせをホームページに掲載した。

##### 3) 2021.10.26

日本肝胆膵外科学会および大腸癌研究会で集積した「大腸癌肝転移データベース」の一般利用の開始について、お知らせをホームページに掲載した (大腸癌肝転移データベース合同委員会 (高橋慶一先生) からのご依頼)。

##### 4) 2021.10.29

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020 年版」(2020.7 月発刊) 本文のホームページ掲載が完了した。

##### 5) 2021.1.07

- ✓ 「活動中の委員会」の委員名を、各委員会ホームページに掲載した。
- ✓ 「大腸癌診療のトピックス」→「リンク集 (医師・会員向け)」にコンテンツ名称を変更した。併せて、これまでの議論を踏まえ、コンテンツ内の構成も一部調整した。

##### 7) 2022.1.11

「アクセスレポート (2021 年 6 月~2021 年 12 月) を掲載した。研究会サイトへの「訪問者数」は月平均で約 5 万件であった。

##### 8) 2022.1.25 (=同日 (発売日) AM に本番アップ予定)

「大腸癌治療ガイドライン医師用 2022 年版」・「患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2022 年版」発刊のお知らせを掲載した。

## 2. 作業中の事項に関する報告

---

### 1) 「大腸癌取扱い規約」旧版のホームページ掲載

- ✓ 第 1 版～第 8 版、英語版の旧版の PDF を近日掲載予定 (現在、微細な修正作業中)。
- ✓ 委員内でメール審議 (2021.12.16～12.20) の結果、トップページ左側に新たに「大腸癌取扱い規約」のバナーを作成し、その中にコンテンツを掲載するレイアウトとした。

### 2) 研究会役職者リストのホームページ公開

- ✓ 2021 年 1 月の委員会 (メール審議) にて、幹事、世話人等のリストの公表について意見があったことを受け、杉原会長に相談、了解→2021 年 7 月の幹事会で了解済み。
- ✓ 今回の世話人会で決定事項として報告する。
- ⇒ 研究会終了後、会長交代等に伴うホームページ記載変更と併せて、HP 業者に作業依頼予定。速やかな掲載を目指す。

### 3) 『関連論文』の掲載について

- ✓ ①『研究の成果 (仮)』として独立したコンテンツにして左側にバナーを出す、②プロジェクト・委員会ごとに掲載、③併せて<優秀論文賞の一覧>も掲載、の方向で掲載形式について HP 業者と相談済みである
- ✓ 2021 年 8 月に各委員で分担し、<プロジェクト毎に分類・URL を確認する作業>を行った。
- ✓ 現在、各プロジェクトの長に内容確認 (修正、追加) を依頼中。
- ✓ 優秀論文賞のリスト化 研究会事務局に依頼→2012 年分まで入手済み。それ以前は世話人会議事録等から抽出を行う。
- ⇒ 3 月までの掲載データ FIX を目指し、その後ページ改変作業を発注する予定 (掲載作業の工賃については作業量が FIX 後に確定)。

### 4) 研究会の抄録集の電子版掲載について

- ✓ 第 58 回以降の抄録集は研究会 HP「過去の研究会主題一覧」ページに PDF 掲載済み。
- ✓ 第 57 回 (2002 年 7 月) 以前については、PDF の軽量化作業中であり、完了次第順次掲載していく。

## 3. 検討事項

---

### 1) 「研究会参加施設」の情報のアップデート

- ✓ 施設ホームページへのリンクが古い / リンクの無い施設がある。

- 検討事項 A** いったん、すべての参加施設で確認してもらい、新しい情報を収集するよう、研究事務局を通じて依頼してはどうか？ (例：)
- ⇒研究会事務局と相談し、施設代表者にメール又は文書で依頼→Google form 等を利用して回答してもらう形で、情報収集・HP 反映を実施することとする。
- ✓ **検討事項 B** 「市民の皆様へ」のページに、「研究会参加施設一覧」への入口を設けてはどうか？ (一般の方が受診する際の参考となるように)
- ⇒大腸癌研究会では認定施設制度等の施設要件はないものの、情報を提示することによるマイナス面はないと考えることから、上記の方針で合意が得られた。作業を進める。

## 2) 研究成果 (業績) の収集について

- ✓ 委員会・プロジェクト研究で公表された論文について、研究会事務局への報告が漏れていることも多々ある。議事録の掲載がない委員会・プロジェクトもある。
- ⇒研究会事務局からのアナウンス (研究会前) に加え、研究会終了後に、広報委員会からも各委員会・プロジェクト研究の委員長にリマインドをかけることとする。
- ✓ 研究会事務局から HP 業者に発注すると、書式の統一がちゃんとできていない。
- 検討事項 C** 掲載情報の収集・整理を広報委員会で管理した方がよいか？
- ⇒情報の収集は本来は広報委員会の業務の範疇ではないと思われるが、各委員会・プロジェクト研究に、業績を含む簡単な「年次報告」の提出を課す (その中から論文業績を抽出し、HP に反映する) 案について、幹事会に相談する方向で検討を進めることで合意が得られた。ただし、委員会・プロジェクト研究の先生方に負担をかけない程度の報告形式について、実施可能性も含め、引き続き本委員会で検討する。

## 3) 「大腸癌研究会での臨床研究」ページのアップデート不良

- ✓ 倫理審査委員会との連携が必要と思われる。
- ⇒倫理審査委員会より、猪股雅史 (新) 委員長に広報委員会の委員に加わっていただくこととなった。
- ⇒**今後の検討事項** 具体的な方法について、アイデアを持ち寄り案を作成する。

## 4) 「市民の皆様へ」ページ下段の<アンケート>の集計

- ✓ 前回集計は 2018 年 1 月 (対象期間：2016 年 7 月～2017 年 12 月)。
- ⇒**検討事項 D** 今後の参考とするため、上記の期間以降のアンケート集計を実施する方針で合意が得られた。
- ✓ 集計が面倒な形に作られているので、定期的にみるならアンケートフォームの変更が現実問題として必須。
- ⇒**検討事項 E** 年 1 回程度の定期的な集計を行うことが良いとの意見で一致した。フォームの内容について、石黒が素案を作成した上で委員会内で検討する。

5) その他

● アクセスレポートのレイアウト変更

- ✓ 前回委員会で、データの提示の仕方が attractive ではない等、改善の余地ありとの意見あり。

⇒今後の検討事項 何をモニタリングしたいか、現構成で不要なものは何か等、引き続き検討し案を作成した上で、HP 業者と実施可能性、費用等について相談する。

● 委員長交代について

- ✓ 会長交代に伴い委員長が植竹→石黒に変更となる。

以上